



iThenticateの使い方

(ユーザー向け)

By



目次：

システム要件	1
iThenticateアカウント設定	2-3
iThenticateへのログイン	4-7
iThenticateメインページの説明	8-12
iThenticateでの文書アップロード	13-19
類似性レポートの見方	20 - 38
フォルダーの管理	39 - 42
設定	43

システム要件：

オペレーティングシステム：

Windows® 8.1, 10, 11

Mac OS X Intel El Capitan 10.11

ChromeOS

ブラウザ：

以下のブラウザの最新バージョンと1つ前のバージョンをサポートしています。

Chrome

Firefox

Safari

Microsoft Edge

技術要件：

ご利用のインターネットブラウザがTurnitin.com/TurnitinUK.comからの全てのクッキーを受け入れるように設定してください。

Javascriptを有効にしてください。

セキュリティー設定：

Turnitinの製品をアクセスするにはブラウザやアンチウイルスソフトが下記のURLのコンテンツをブロックしないよう設定してください。

*.ithenticate.com

*.turnitin.com

*.turnitinuk.com

*.turnitincdn.com

ajax.googleapis.com

Turnitinからメールを受け取れるよう、下記のドメインからのメールをブロック、またはSPAMとして登録しないようにしてください。

@ithenticate.com

@turnitin.com

@turnitinuk.com

@iparadigms.com

iThenticateアカウント設定

初回ログインとパスワードの設定

管理者がユーザーを登録したタイミングで、「noreply@turnitin.com」より下図のメールが送られます。***メールが確認できない場合は、迷惑メールフォルダのご確認をお願いします。**

「アカウントを設定する」をクリックして、アカウント作成を行います。





Turnitinへようこそ

アカウント テスト さん、

お客様は、iThenticateのDaichi Tanaka iThenticate Accountのアカウントに追加されました。

この有効化リンクはお客様専用であり、1度のみ使用可能です。このメールは転送しないでください。

アカウントの有効化

 このEメールに記載されているリンクの有効期限は7日間です。リンクの有効期限が切れているか、新しいリンクが必要な場合は、ご所属の組織の管理者にご連絡ください。

Daichi Tanaka iThenticate Account様には、iThenticateにアクセスするための専用のログインページが提供されています。アカウントの設定が完了したら、今後のアクセスに備えてアカウントのホームページをブックマークしてください。

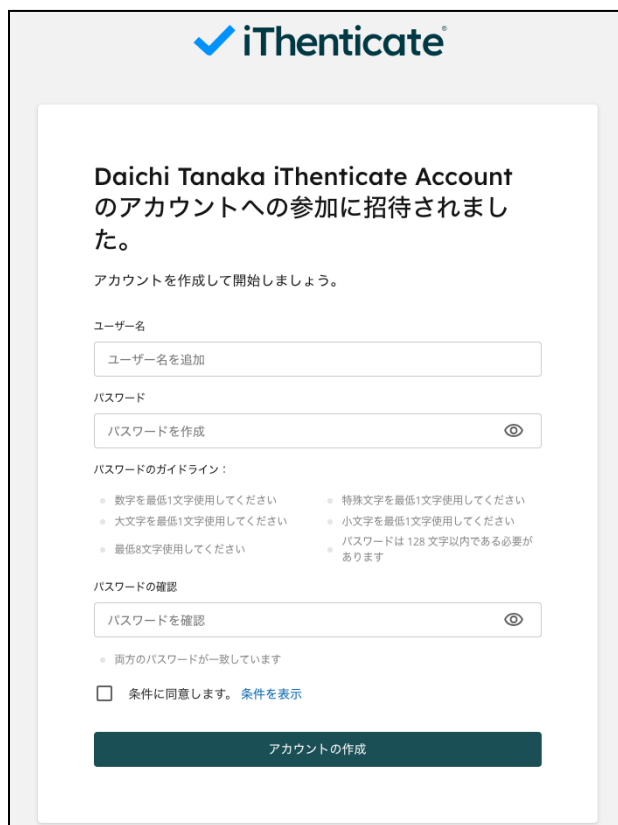
専用のログインページ: <https://sign-in>

2101 Webster Street, Suite 1800
Oakland, California 94612
United States

© Turnitin, LLC. このメールはTurnitinに登録されている方にお送りしています。ご不明な点がございましたら、tiisupport@turnitin.comまでお問い合わせください。メール通知は、[Turnitinのプライバシーポリシー](#)の対象となります。

ユーザー名とパスワードを指定し、利用許諾書を確認した上で「条件に同意します」にチェックを入れてください。
最後に「アカウントの作成」を押してください。



The screenshot shows the iThenticate account creation interface. At the top is the iThenticate logo. Below it, the text reads: "Daichi Tanaka iThenticate Account のアカウントへの参加に招待されました。" (You have been invited to join the Daichi Tanaka iThenticate Account). Underneath, it says "アカウントを作成して開始しましょう。" (Create an account and get started). The form includes a "ユーザー名" (Username) field with a placeholder "ユーザー名を追加" (Add username), a "パスワード" (Password) field with a placeholder "パスワードを作成" (Create password) and an eye icon, and a "パスワードの確認" (Confirm password) field with a placeholder "パスワードを確認" (Confirm password) and an eye icon. A "パスワードのガイドライン" (Password guidelines) section lists requirements: at least 1 number, 1 uppercase letter, 1 lowercase letter, 1 special character, and a minimum length of 8 characters. Below the password fields is a checkbox for "条件に同意します。条件を表示" (I agree with the terms. Show terms). At the bottom is a dark green button labeled "アカウントの作成" (Create account).

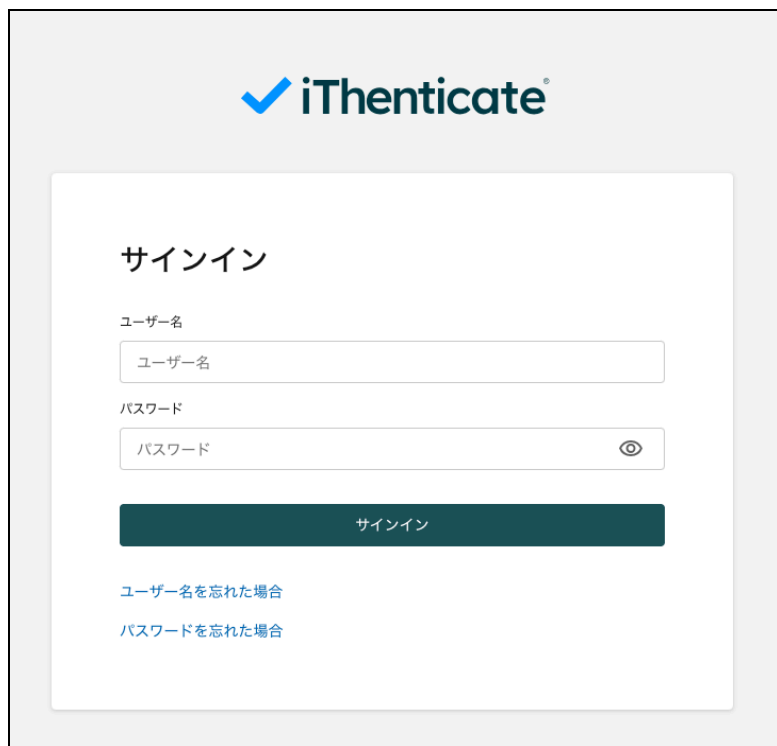
アカウント作成を完了すると、iThenticateのホーム画面に移動します。



The screenshot shows the iThenticate home dashboard for user Daichi Tanaka. The top navigation bar includes "メインメニュー" (Main menu), "Daichiさん、ようこそ" (Welcome, Daichi), and "ヘルプ" (Help). The left sidebar has a "ホーム" (Home) button. The main content area features three cards. The first card, titled "iThenticate", describes the service as a comprehensive similarity check for researchers, publishers, and students, with a "起動" (Start) button and a bar chart showing 45% and 10% completion rates. The second card, titled "1 2 3", provides a "ガイドを開く" (Open guide) button. The third card, titled "フィードバック", includes thumbs up/down icons and a "フィードバックを行う" (Provide feedback) button. The bottom left shows the user's name "Daichi Tanaka" and the iThenticate logo.

iThenticateへのログイン 二回目以降のログイン方法

iThenticateにアクセスする専用のURLにアクセスし、ログイン情報を入力します。



ユーザー名とパスワードを入力して、「サインイン」をクリックしてください。

ユーザー名またはパスワードを忘れた場合は、「サインイン」ボタンの下のリンクをクリックしてください。



ユーザー名を忘れた場合：



The image shows a screenshot of the iThenticate website's login support page. At the top, the iThenticate logo is displayed. Below the logo, the heading reads 'ログインにサポートが必要ですか？' (Do you need support for login?). Underneath, it says 'ユーザー名を電子メールで送信します。' (We will send your username via email). There is a text input field labeled '電子メール' (Email) with the placeholder text '電子メール'. Below the input field is a dark green button labeled '電子メールを送信' (Send email). At the bottom, there are two links: 'すでにアカウントをお持ちですか？ [サインイン](#)。' (Do you already have an account? [Sign in](#).) and 'ヘルプが必要ですか？ [当社に電子メールを送信](#)。' (Do you need help? [Send us an email](#).)

こちらにメールアドレスを入力します。



The image shows a screenshot of an email reminder from iThenticate. The email header includes the iThenticate logo and the subject line 'Turnitin ユーザー名' (Turnitin Username). The body of the email starts with 'Daichi さん、' (Hi Daichi), followed by 'ユーザー名のリマインダーのリクエストを受信しました。' (We received your request for a username reminder). Below this, it says 'あなたの Turnitin ユーザー名：' (Your Turnitin username:). At the bottom of the email body is a blue button labeled 'サインイン' (Sign in). At the very bottom of the email, there is a small footer text: 'リクエストしていない場合、このメールは無視してください。リクエストは処理されません。' (If you did not request this, please ignore this email. Requests are not processed.)

ユーザー名が記載されているメールが届きます。

パスワードを忘れた場合：



The screenshot shows the iThenticate website's password reset interface. At the top is the iThenticate logo. Below it is the heading "ログインにサポートが必要ですか？" (Do you need support to log in?). Underneath is the subtext "パスワードのリセット方法に関する電子メールを送信します。" (Send an email about the password reset method). There is a text input field labeled "電子メール" (Email) with the placeholder text "電子メール". Below the input field is a dark green button labeled "電子メールを送信" (Send email). At the bottom, there are two links: "すでにアカウントをお持ちですか？ サインイン。" (Do you already have an account? Sign in.) and "ヘルプが必要ですか？ 当社に電子メールを送信。" (Do you need help? Send us an email).

メールアドレスを記入します。



The screenshot shows an email from iThenticate with the subject "パスワードの変更" (Change Password). The email is addressed to "Daichi さん、" (Mr. Daichi). The main text says "パスワードを変更するリクエストを受信しました。" (We received your request to change your password). There is a prominent blue button labeled "パスワードを変更する" (Change Password). Below the button, there is a paragraph: "ボタンが作動しない場合、このリンクをコピーして、ブラウザに貼り付けてください： <https://tii-dtanaka-ithenticate.turnitin.com/reset-password?c=cxC9xRxyXf>". At the bottom, there is a disclaimer: "リクエストしていない場合、このメールは無視してください。リクエストは処理されません。このメール内のリンクは、24 時間後に使用できなくなります。 [新しいリンクをリクエストする](#)".

「パスワードを変更する」をクリックして、新しいパスワードを設定します。

パスワードをリセット

パスワード

パスワード

- 数字を最低1文字使用してください
- 大文字を最低1文字使用してください
- 最低8文字使用してください
- 特殊文字を最低1文字使用してください
- 小文字を最低1文字使用してください
- パスワードは 128 文字以内である必要があります

パスワードの確認

パスワードをご確認下さい

- 両方のパスワードが一致しています

保存

すでにアカウントをお持ちですか? [サインイン](#).

新しいパスワードを2回入力して、「保存」ボタンを押してください。

iThenticateメインページの説明

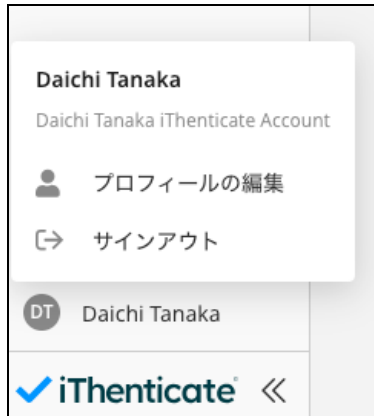
文書一覧画面の各項目説明

ログインした後のメインページです。

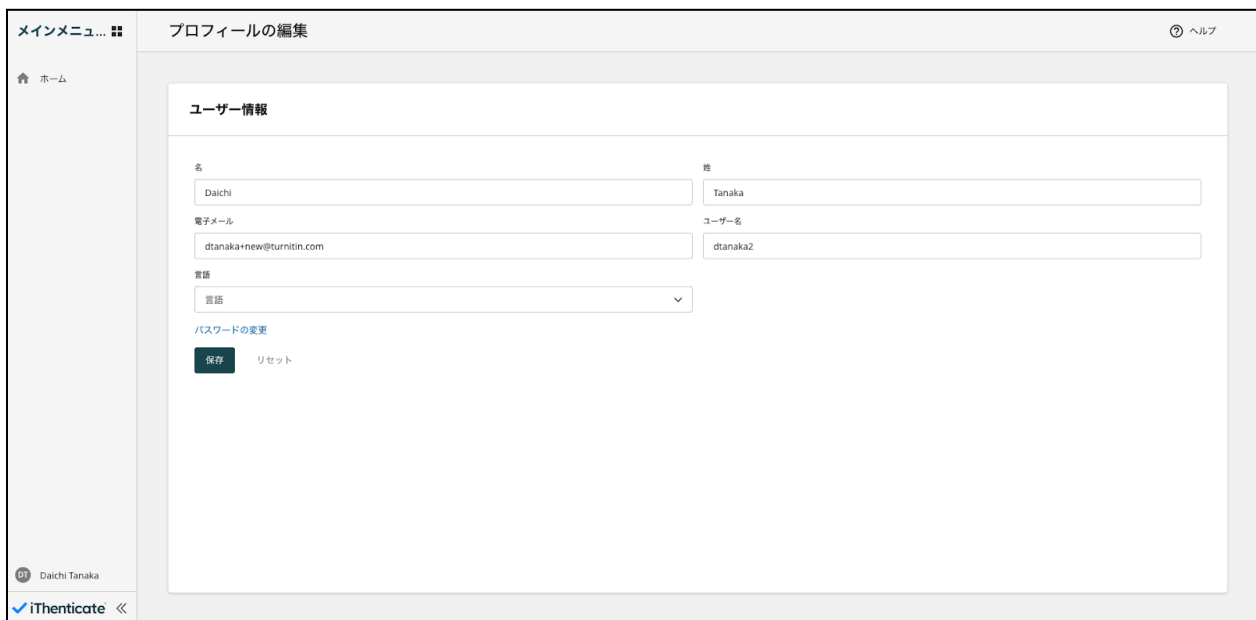


左下の名前から個人情報の変更とログアウトができます。

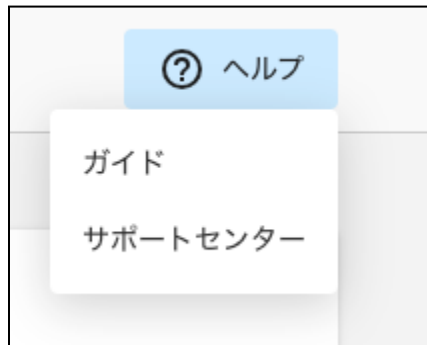




「プロフィールの編集」から1. 姓・名、2. メールアドレス、3. ユーザー名、4. 言語の変更、5. パスワードの変更ができます。



右上「ヘルプ」からガイドページとヘルプセンターを開くことができます。



iThenticateを開始する際は画面中央にあるの「起動」をクリックしてください。

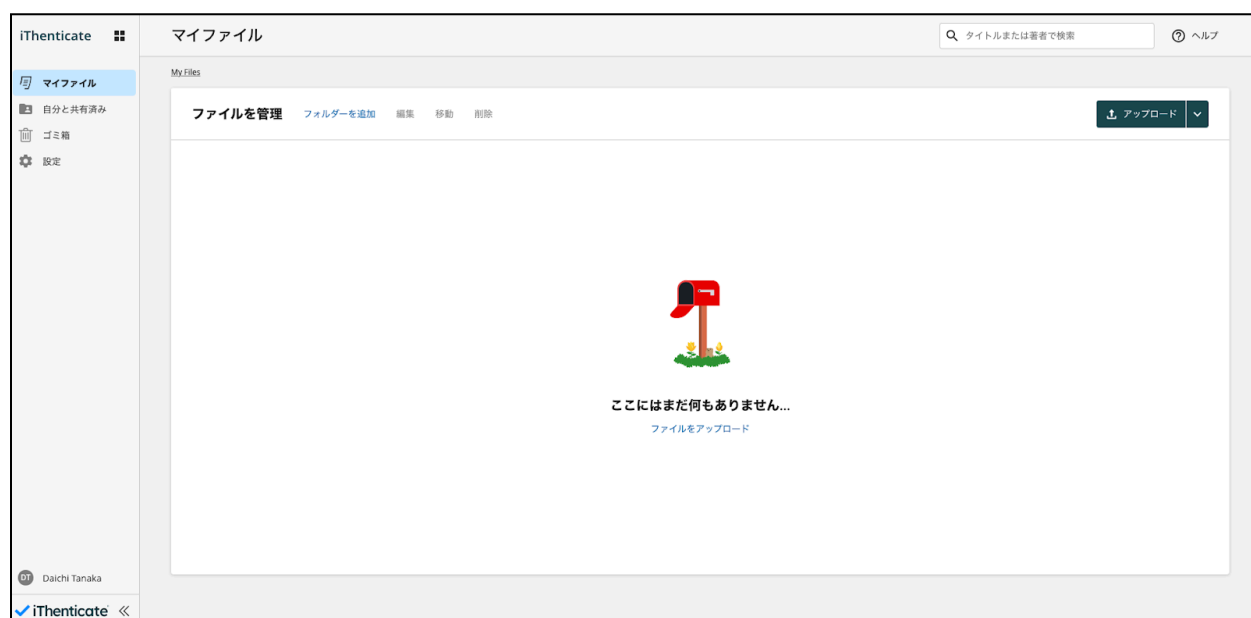


または、左上4つのタイルのアイコンをクリックして、iThenticateを起動することもできます。





上記の方法でiThenticateの提出画面に移動します。



iThenticateでの文書アップロード

文書の提出方法

「マイファイル」の画面から中央にある「ファイルをアップロード」を選択します。





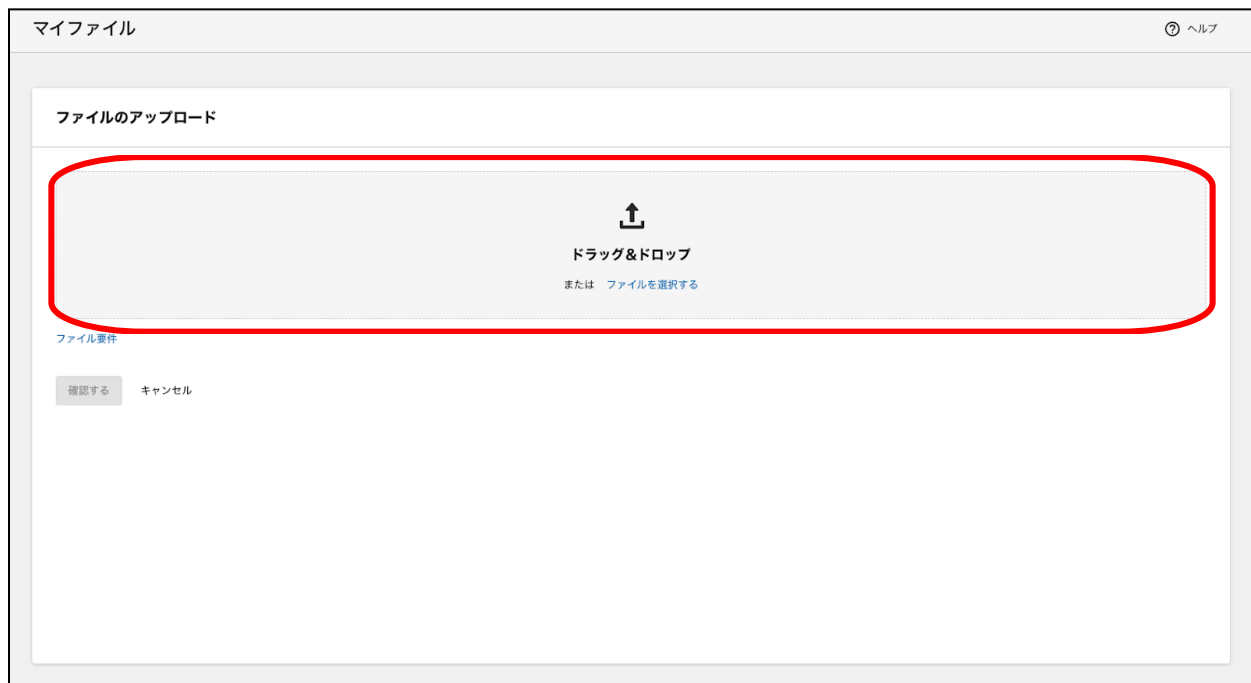
右側の「アップロード」からも提出ができます。



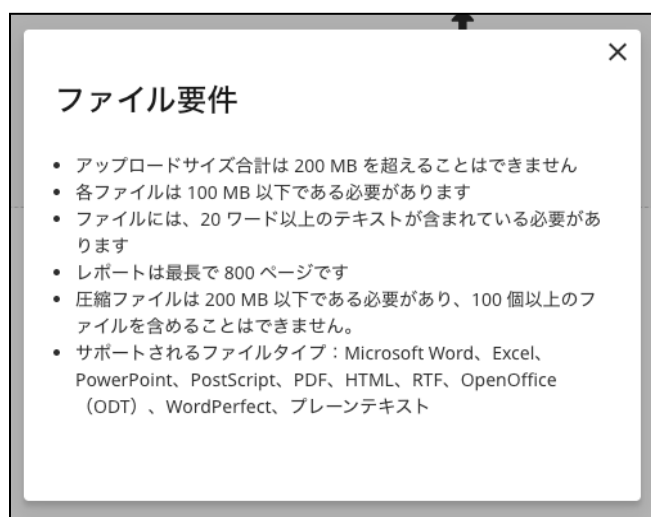
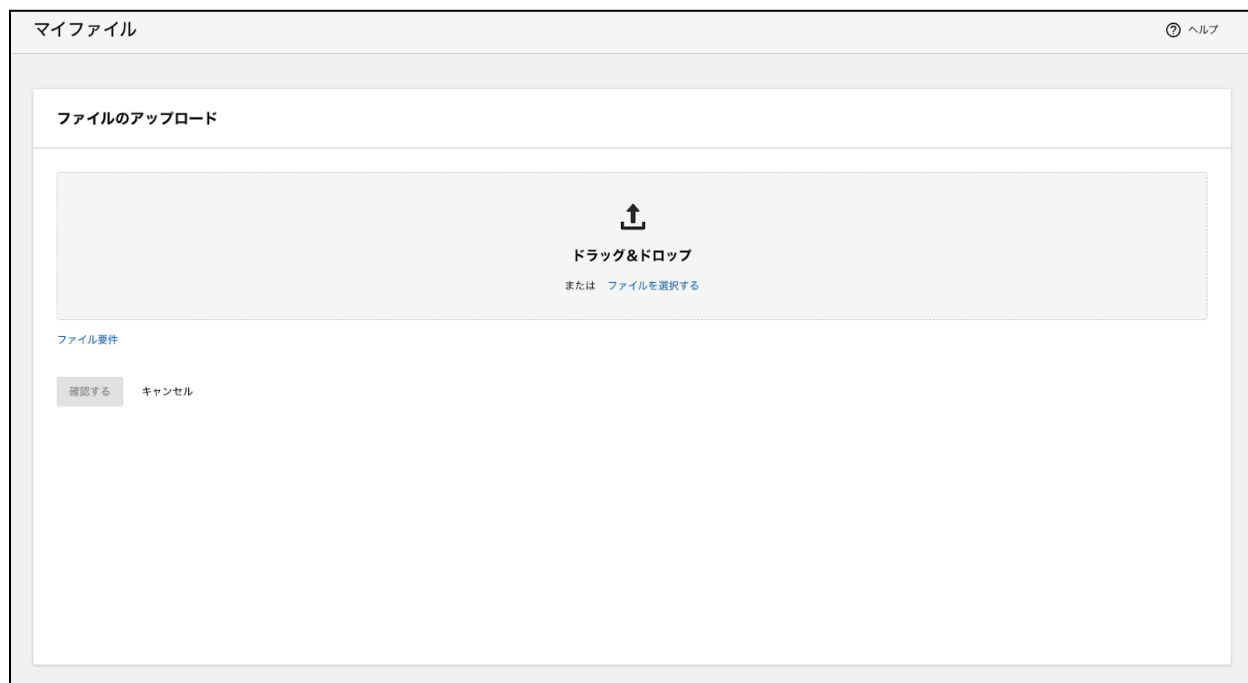
「リポジトリ比較」を選択するとインターネット、刊行物など膨大なコンテンツと比較できます。

「文書対文書の比較」は指定した特定のドキュメントと比較できる機能です。

提出する際はファイルをそのまま枠内にドラッグ&ドロップするか、「ファイルを選択する」からファイルを選んでください。



ファイル要件には提出可能なファイルタイプが記載されています。



任意で著者の名前を入力し、「確認する」をクリックして提出を完了します。
提出するファイルを今後の比較対象にする場合は、「アカウントのリポジトリにインデックス
します。」にチェックを入れてください。


ファイルをアップロード

iThenticate paper.docx.pdf

タイトル

著者の名

著者の姓



アカウントのリポジトリにインデックスします。 [詳細について](#)
インデックス済みの提出物は、類似性レポートでの比較に使用することができます。

提出したタイミングで類似性チェックが開始されます。

1個のアイテムをアップロードしています...

 iThenticate paper.docx.pdf

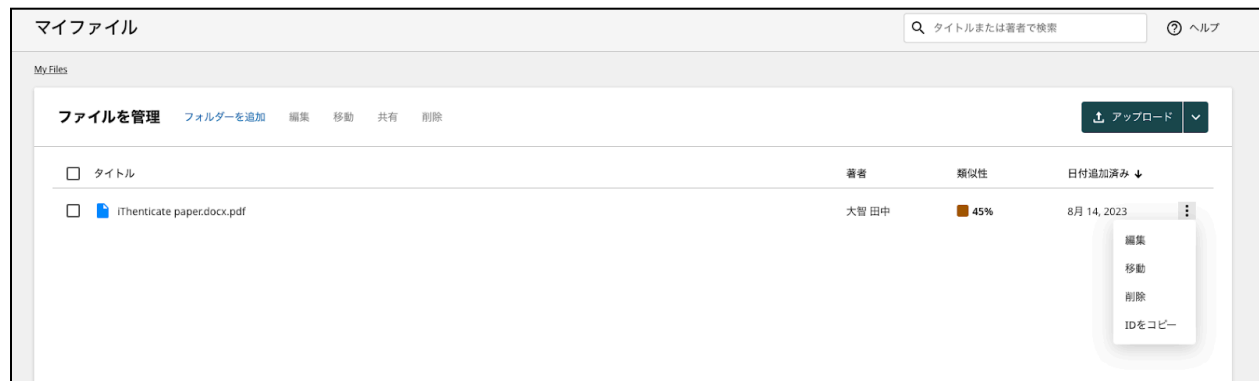
1件のアップロードが完了しました 

 iThenticate paper.docx.pdf [開く](#)

マイファイルに提出物が追加され、詳細を確認できます。



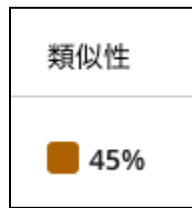
右側の3点リーダーから提出の編集や削除を行うことができます。



- 提出物の名前などの編集
- 提出物を別のフォルダーに移動させる
- 提出物を削除する
- 提出物IDをコピーする（管理者やサポートチームに連絡する際に求められる場合がある）

類似性チェックが終わると、結果のパーセンテージが表示されます。





タイトルまたは類似性の判定結果をクリックすると、類似の詳細が確認できるレポート（以下、類似性レポートと呼ぶ）が開きます。

類似性レポートの見方

一致箇所の確認方法

類似性レポート

ハイライトされた一致は、テキストの類似性を示すもので、必ずしも剽窃を示すものではありません。一致する部分は引用もあれば、参考文献に記載されている引用もあります。弊社は、それぞれの一致についてできるだけ多くの情報を提供し、その正当性を評価する手助けをすることを目指しています。

全体の類似度

全体の類似度は、提出物のテキストがデータベースのソースとどれだけ一致するかを示すパーセンテージです。このパーセンテージは、一致する単語の数を文書内の単語の総数で割ることによって計算されます。

検索対象

提出物に対して（少なくとも20ワード以上）類似性レポートが生成されます。類似性レポートには選択された検索対象、またはデータベースに対して提出されたテキストを比較した結果を確認できます。

データベースには以下が含まれます：

- 公開中および、アーカイブ済みのウェブページ
- 定期刊行物、ジャーナル、出版物
- 機関専用のリポジトリに含まれる提出物

検出された一致の詳細は類似性レポートから確認できます。

The screenshot displays the iThenticate interface for a document titled "UK Economy.docx". The main document area shows a section titled "1.1 Labour Market" with several paragraphs of text. Some text is highlighted in pink, indicating matches with sources. A sidebar on the right, titled "36% 全体的な類似性", lists the sources and their similarity percentages:

Source	Similarity Percentage
インターネット socserv.socsci.mcmaster.ca	6%
インターネット adam.curry.com	3%
インターネット www.econstor.eu	2%
インターネット ec.europa.eu	2%
インターネット ar.scribd.com	2%

一致の概要

The screenshot displays a similarity report interface. At the top, it shows a total similarity of 36% and a 'フィルター' (Filter) button. Below this, there are two tabs: '一致グループ' (Consistent Group) and 'ソース' (Source), with 'ソース' currently selected. A toggle switch for '重複ソースを表示する' (Show duplicate sources) is visible. The main content area lists two sources:

Rank	Source	Similarity	Text Blocks	Consistent Words
1	インターネット socserv.socsci.mcmaster.ca	6%	8	122
2	インターネット www.imf.org	3%	1	60

新しい類似性レポートでは、テキストの類似性をより迅速に把握するために、2種類のビューを提供します：

- ソース：ソースからは、類似度の高い順に各ソースをリストに表示されます。
- 一致グループ（英語で書かれた提出物のみ）：一致グループのビューからは、一致箇所を4つのカテゴリーに分けて表示させます：
 - 引用符がなく、引用も明記されていない一致
 - 引用符がついていない一致
 - 引用したことが明記されていない一致
 - 引用符および引用の明記もある一致

各カテゴリーの一致に対してそれぞれの色で判別されます。

重複するソース

同じ一致箇所は複数のソースと類似が検知される場合があります。テキストが複数のソースに類似している場合、一致する単語が多い方のソースが最初に表示されます。

単語数が同じであれば、ソース元の種類を見て、以下の優先順位で表示させるソースを決めます：

1. インターネット
2. 出版物
3. iThenticateリポジトリに追加されている提出物

同じテキストに一致する重複したソースを表示するには、一致のハイライトまたはソースを選択し、右側の「他のソースを表示する」をクリックしてください。

The screenshot shows a search results interface. At the top, there is a green circle with the number '4' and a light green pill-shaped button labeled 'インターネット'. To the right of this are icons for a magnifying glass and an upward arrow. Below this, the source 'ec.europa.eu' is listed with '2%' on the right. Underneath, it says '2 テキストブロック' and '45 一致したワード'. A horizontal line separates this from the next section. In the center, there are navigation arrows and '1 / 2'. On the right, it says '24語'. Below that is a blue link: 'ec.europa.eu/economy_finance/publications/publication562_en.pdf'. The main text is a paragraph about ageing and labour supply, with several phrases highlighted in green. At the bottom of the text area, there is a blue link '全ソーステキストを表示'. Below the text area is a button labeled '一致を除外する'. At the very bottom, there is a downward arrow icon and the text '他のソースを表示する'.

4 インターネット

✕ 他のソースを表示しない

現在のソース

ec.europa.eu
2% 2 matches 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

euroframe.net
2% 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

gemma.gov.mt
2% 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

socialsecurity.gov.mt
2% 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

www.econstor.eu
2% 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

www.euroframe.org
2% 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

18 more sources ▼

重複したソースも含む、全てのソースを一覧から表示させる場合は、「重複ソースを表示する」を有効に切り替えてください。

36% 全体的な類似性

▼ フィルター

一致グループ

ソース

重複ソースを表示する ⓘ

1 インターネット

ec.europa.eu

📄 172 一致したワード



8%

2 インターネット

www.suerf.org

📄 171 一致したワード



8%





重複ソースを表示する ⓘ

一致グループ

一致グループは、ハイライトされた一致箇所を、引用符と引用の明記の有無に基づいて4つのカテゴリーに分類します。カテゴリー分けにすることにより、共通している一致箇所がより特定しやすくなり、問題がある一致なのかそうでないのかをより早く特定することができます。

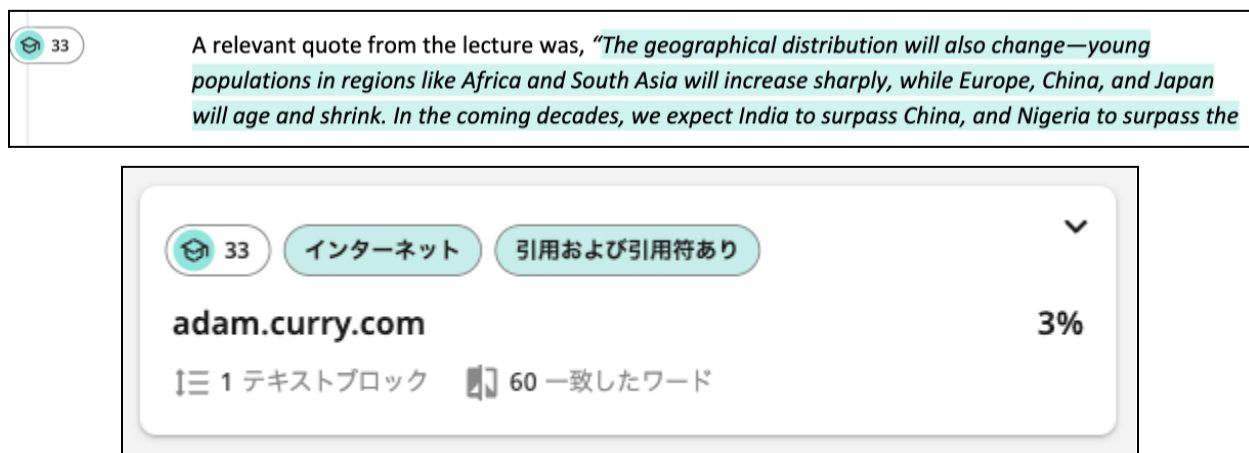
ハイライトの色と基準

一致するテキストはそれぞれのカテゴリに該当する色でハイライトされます。各一致グループの色と基準は次のとおりです：

-  39 引用および引用符なし : 引用符がなく、引用も明記されていない一致
-  1 引用符なし : 引用符がついていない一致
-  1 引用の明記なし : 引用が明記されていない一致
-  0 引用および引用符あり : 引用符および引用の明記もある一致

ソース番号

文書内の各ハイライトにはソース番号が付与されており、ソースの詳細にも表示されます。文書内のハイライトを選択すると、右側のパネルで該当するソースにフォーカスが当たります。



The screenshot shows a document with a highlighted quote: "A relevant quote from the lecture was, *'The geographical distribution will also change—young populations in regions like Africa and South Asia will increase sharply, while Europe, China, and Japan will age and shrink. In the coming decades, we expect India to surpass China, and Nigeria to surpass the*". Below the quote is a source panel for "adam.curry.com" with a 3% match rate. The panel includes a source number "33", the domain "adam.curry.com", and a match percentage "3%". It also shows "1 テキストブロック" (1 text block) and "60 一致したワード" (60 matching words). The source is categorized as "インターネット" (Internet) and "引用および引用符あり" (Citation and quotation marks present).

一致グループを選択

特定の一致グループを確認するには、4つの一致グループから1つを選択し、右側のパネルでその条件を満たす一致箇所にフォーカスを当てます。

36% 全体的な類似性

フィルター

一致グループ

ソース

1 整合性フラッグ フラッグに移動

47 Turnitinのデータベースで一致が見つかりました ヘルプを表示

45	引用および引用符なし	33%
1	引用符なし	0%
0	引用の明記なし	0%
1	引用および引用符あり	3%

一致の詳細

一致箇所のソースパネルをクリックして、パネルを拡大にすると、ソース先の詳細が見れます。

1 インターネット 引用または引用符なし

socserv.socsci.mcmaster.ca 6%

8 テキストブロック 122 一致したワード

拡大にする前に確認できる情報：

一番上の行に表示されているのは、上位一致ソースとして検知されたソース番号、(こちらの番号は文書中の一致が検知されたテキストの隣にも表示されます)
コンテンツタイプ、および一致グループの基準が隣に記載されています。

2行目には、ソース先の名前と一致率が表示されます。

3行目には、そのソースに検知されたテキストの箇所数と総語数が表示されます。

一致先の詳細

1 インターネット 引用または引用符なし

socserv.socsci.mcmaster.ca 6%

8 テキストブロック 122 一致したワード

< 1 / 8 > 44語

socserv.socsci.mcmaster.ca/iesop/papers/iesop_32.pdf

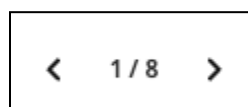
for health care, those provinces with relatively high ratios may anticipate greater pressures in areas of public budgetary expenditure related to the older population.¹⁰ We turn now to the effects of demographic change on the labour force. The rapid population growth from the mid-1940s through the mid-1960s was reflected in rapid labour force growth, with a lag of some two decades to allow for the children of the baby boom to reach working age. There was a similar lag following the baby bust, the children of which first reached working age in the latter part of the 1980s, and that played an important role in the slowing down of labour forc

[全ソーステキストを表示](#)

一致を除外する

一致ソースを拡大にすると、ソース先のURLの確認やその他の機能が表示されます。文書内のハイライトをクリックすると、同じくソースを拡大できます。

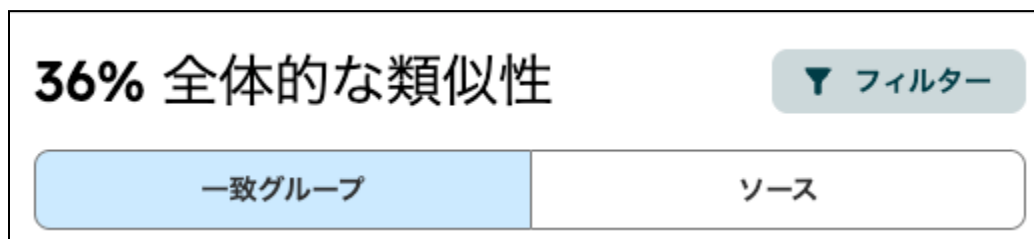
同じソースの他の一致に移動したい場合は、真ん中の「<」と「>」の矢印をクリックします。



フィルター

フィルターを使用してレポートをカスタマイズし、レビューとの関連性に応じて、特定の一致やソースを表示または非表示にすることができます。例えば、参考文献のフィルターを "オフ" に切り替えると、投稿の最後にある書誌や参考文献リストで検知されたすべての一致が非表示になります。

1. フィルター機能を表示するには、類似性レポートの右上にある「フィルター」を選択してください。



2. フィルターの設定を変更するには、各項目の隣にあるトグルを選択します。デフォルトとして、全ての項目は有効になっています。

The screenshot shows the 'フィルター' (Filter) settings menu. At the top, it says 'フィルター' and has a link to '類似性レポートに戻る' (Return to Similarity Report). Below that, it shows '36% 全体的な類似性' and '46 一致するテキストブロック'. The menu is divided into two sections: '類似性レポートに含める' (Include in Similarity Report) and 'データベースを検索' (Search Database). Each item has a toggle switch with a checkmark icon.

類似性レポートに含める	トグル
ビブリオグラフィー	有効
引用符	有効
引用	有効
概要	有効
手法と文書	有効
小さな一致	無効
プレプリントソース	有効

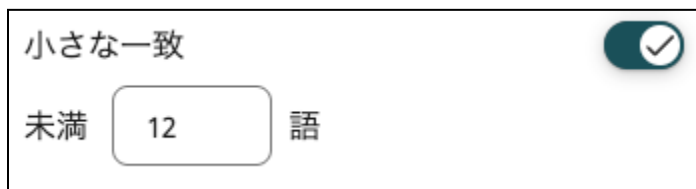
データベースを検索	トグル
インターネット	有効
出版物	有効
Crossref	有効
Crossrefの投稿コンテンツ	有効
提出物	有効

3. 「類似性レポートに戻る」から元の画面に戻り、フィルターが適応済みの類似性レポートを確認できます。

フィルターの詳細

フィルター機能は、表示される一致の基準をカスタマイズします。これらのフィルターを変更すると、全体的な類似度のパーセンテージに影響する場合もあれば、影響しない場合もあります。

- 参考文献：書誌、引用文献、参考文献リストに一致するものがあれば、これらを表示・非表示にします
- 引用符：引用符付きの一致箇所を表示・非表示にします
- 引用：引用が明記されている一致箇所を表示・非表示にします
- 小さな一致：こちらを有効にすると、指定したワード数以下の一致箇所を除外します。
例：「12」を入力した場合、12語未満の一致箇所は非表示になります。



小さな一致

未満 語

比較対象（データベースを検索）

こちらから検索対象となるコンテンツを表示・非表示に変更できます。

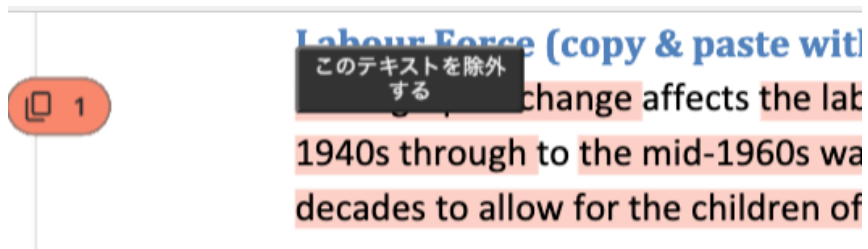
- インターネット
- 出版物
- Crossref：TurnitinはCrossref（国際DOI財団の公式登録機関）とのパートナーシップにより、1500の学術出版社に掲載されているジャーナル記事などの購読コンテンツと比較できるようになっています。
- 「Crossrefの投稿コンテンツ」は提出されたがまだ出版されていない学術コンテンツです。
- 提出物：リポジトリに含まれている提出物

除外

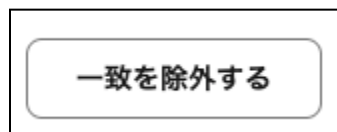
特定的一致またはソースをレポートから除外します。

一致の除外

文書内のハイライトまたはソース内のハイライトをリストから選択します。
文書内のハイライトから「このテキストを除外する」をクリックして除外します。



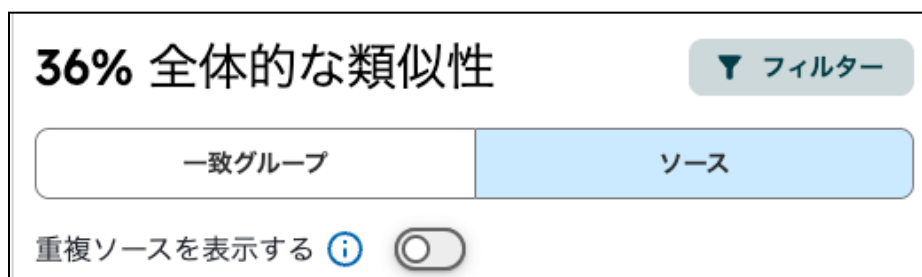
ソース内のハイライトからは「一致を除外する」をクリックして除外します。



ソースの除外

特定のソースを除外する方法は下記の通りです：

1. ソースタブを選択します



2. ハイライトされている一致箇所を選択、またはソースを拡大します

1 インターネット

socserv.socsci.mcmaster.ca 6%

8 テキストブロック 122 一致したワード

< 1 / 8 > 44語


socserv.socsci.mcmaster.ca/iesop/papers/iesop_32.pdf

for health care, those provinces with relatively high ratios may anticipate greater pressures in areas of public budgetary expenditure related to the older population.¹⁰ We turn now to the effects of demographic change on the labour force. The rapid population growth from the mid-1940s through the mid-1960s was reflected in rapid labour force growth, with a lag of some two decades to allow for the children of the baby boom to reach working age. There was a similar lag following the baby bust, the children of which first reached working age in the latter part of the 1980s, and that played an important role in the slowing down of labour forc

全ソーステキストを表示

一致を除外する

他のソースを表示する

- 「」のアイコンをクリックすると、選択したソースは一致の結果から除外されます。

除外した内容を確認


除外項目が適用されると、全体の類似度の真下に除外項目の数が表示されます。「除外 →」を選択すると、除外項目のリストが表示されます。

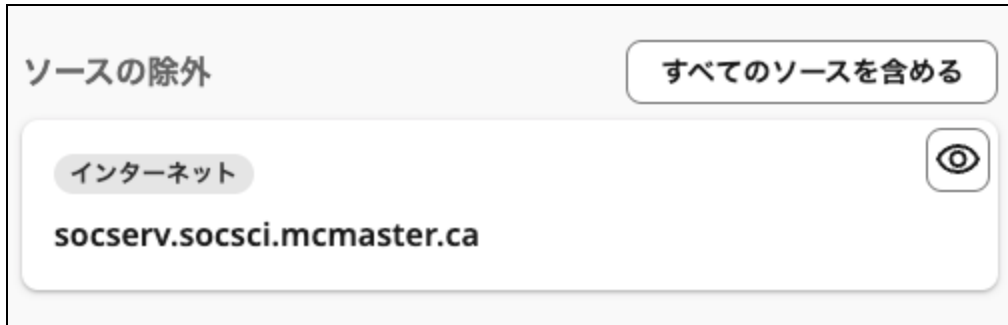
36% 全体的な類似性

1除外 →

一致グループ ソース

重複ソースを表示する 

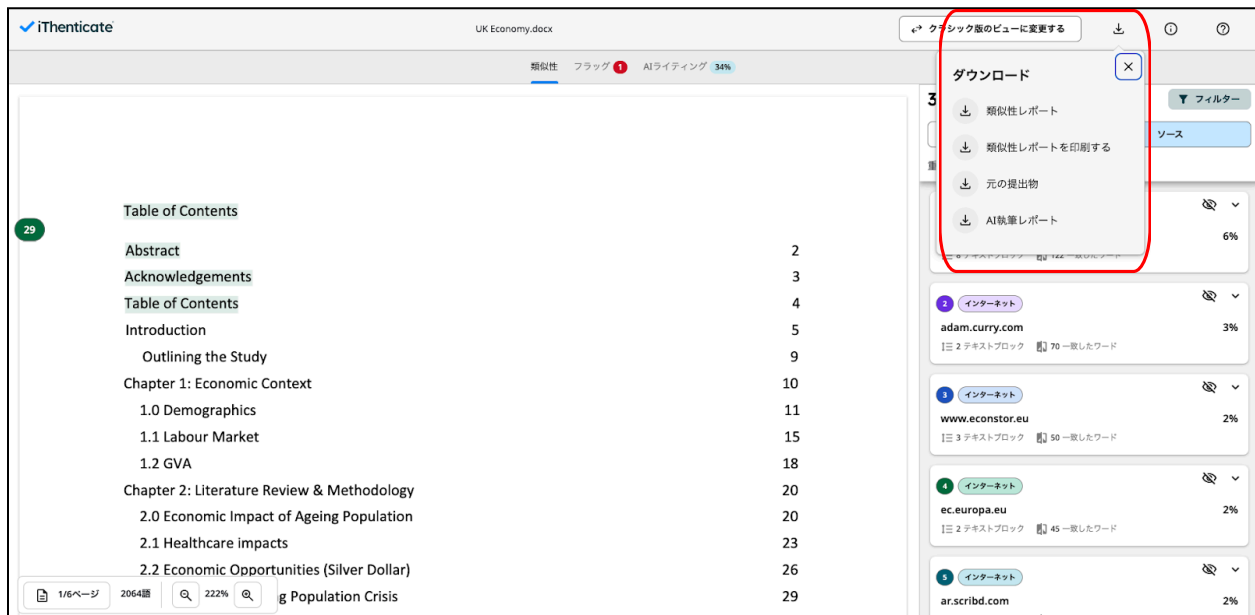
このリストから、 のアイコンを選択することで、除外された項目を元に戻すことができます。全ての除外項目を一括で元に戻したい場合は、「すべてのソースを含める」を選択してください。



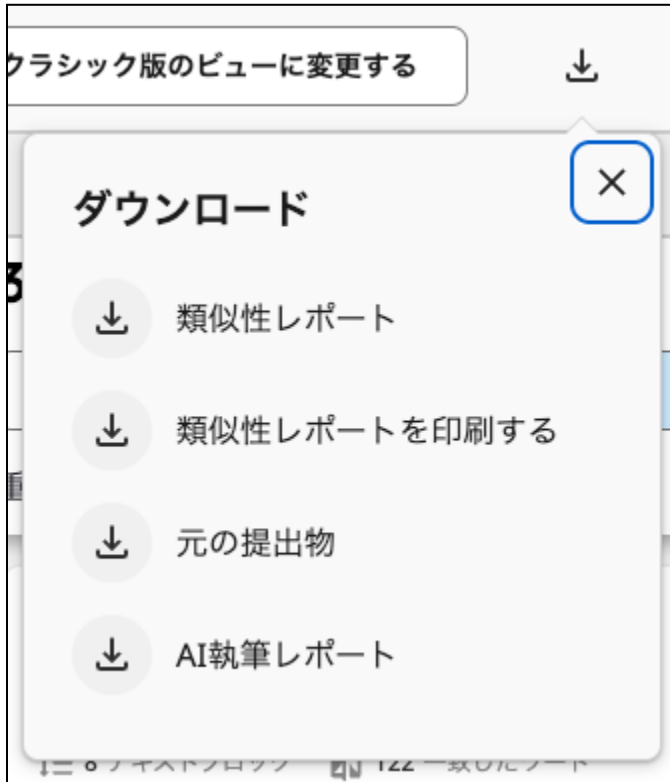
*フィルタや除外を適用しても、全体の類似性スコアが変わらない場合があります。例：一致が複数のソースに見つかった場合、1つのソースを除外しても数字が変わらない可能性があります。

類似性レポートのダウンロード

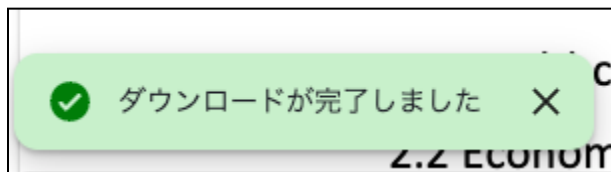
表示されている類似性レポートをファイルとしてダウンロードできます。

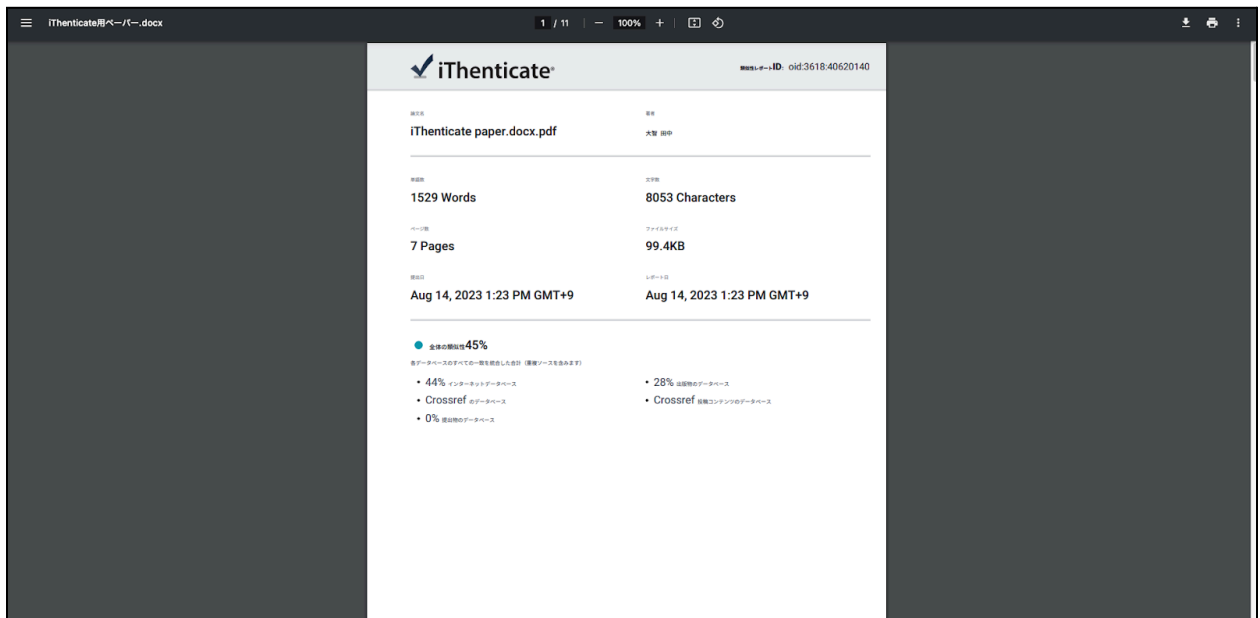


リストからダウンロードしたいファイルを選択します。

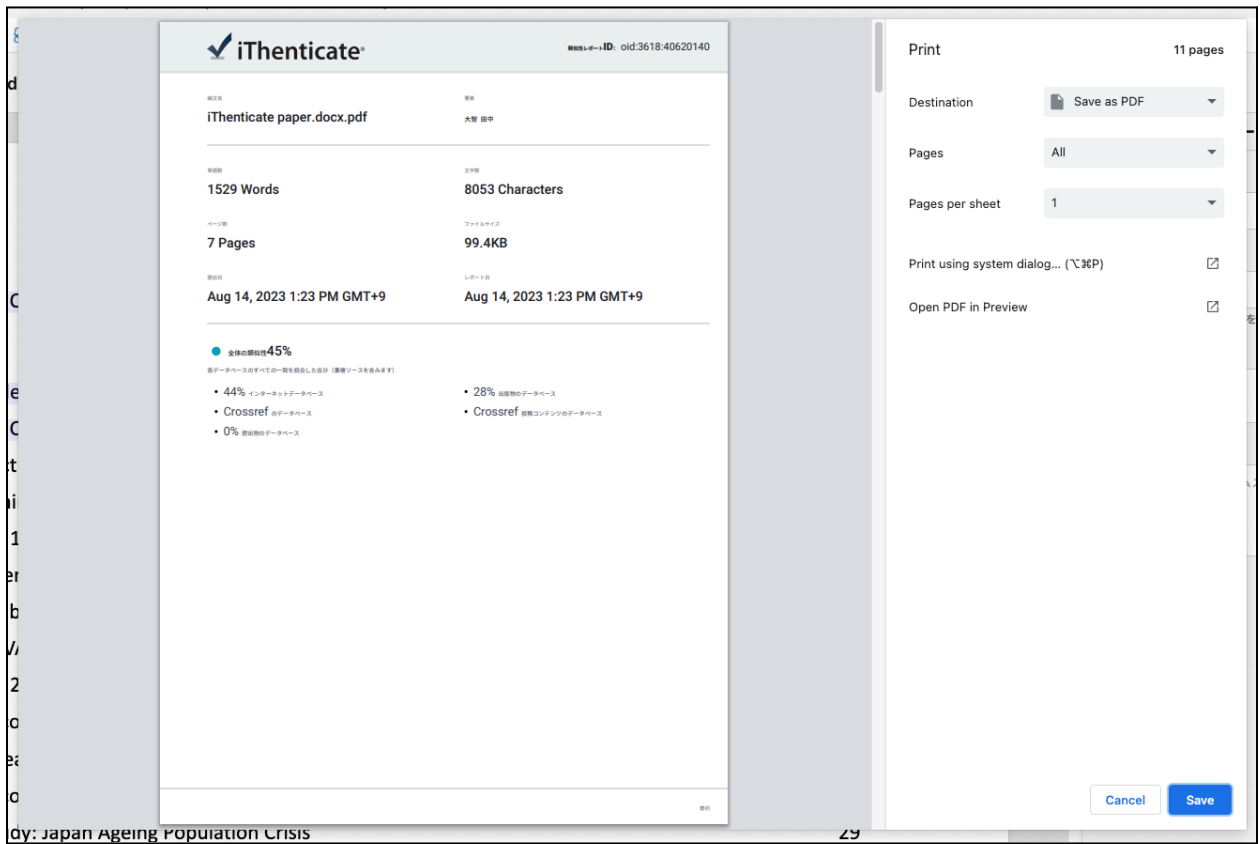


ダウンロードを選んだ際に下図のようにPDFファイルが保存されます。





印刷した場合：



フラッグ

システムのアルゴリズムを使って、テキストに（文書中に）通常の投稿とは異なる操作がないか、ドキュメントが詳細に調査されます。奇妙なことに気付いた場合は、レビューできるようにフラッグを立てます。例：隠しテキストや置き換えられた文字（日本語の文章には対応していません）

The screenshot shows the iThenticate web interface. At the top, the document title is "iThenticate sample AI+Flag.docx". The navigation bar includes "類似性", "カスタマイズしたセクション", "フラッグ 1", and "AIライティング 36%". The main content area displays a document with several red flags (numbered 1 and 2) placed over text. The text includes: "The over 60s enjoy shopping and enjoy doing it twice a week or more. They tend to favour small shops as they find the supermarkets costed and counting. For business people this sets up the chance for more convenience stores such as Tesco Express stores that have been springing up around Northern Ireland. Most of the income of over 60s is spent on food, drinks and health products rather than transport and clothes. Not surprisingly they spend a lot on utilities especially in the cold winter months but the worrying fact is that they forgo the cost of food to pay for heat. The 1970s were a pivotal decade for the global economy, marked by significant changes, economic challenges, and transformations that continue to influence economic thought and policy today. This document explores the economic landscape of the seventies, highlighting key events, trends, and their lasting impact on both the United States and the world."

On the right side, there is a panel titled "1 レビューするフラッグ". It contains the following information:

- 整合性フラッグ
- 置換文字: 別のアルファベットの類似するものに文字が置き換えられることを指します。
- 2ページの不審な文字の数: 25
- Greek: 25
- 置換文字とは何ですか?: 異なるアルファベットや文字セットの似ているものに文字を置換することで、類似性を検出をすり抜けようとする試みです。
- 詳細 (link)

This is a close-up of the navigation bar from the screenshot above. It shows the following elements from left to right: "類似性", "フラッグ 1" (which is highlighted with a red rounded rectangle), and "AIライティング 34%".

1 レビューするフラッグ

不審なテキスト操作が見つかりました。優先事項としてフラッグを確認してください。

整合性フラッグ

置換文字

別のアルファベットの類似するものに文字が置き換えられることを指します。



2ページの不審な文字の数：25

Greek: 25

置換文字とは何ですか？

異なるアルファベットや文字セットの似ているものに文字を置換することで、類似性検出をすり抜けようとする試みです。

[詳細](#)

「詳細」から検知した内容について詳しく確認できます。

置換文字の検索

異なるアルファベットの一部の文字が同じように見え、肉眼で見分けるのが不可能ではないとしても困難な場合があります。

e
Latin

e
Cyrillic

o
Latin

o
Greek

当社のシステムでは、答案をスキャンする際にこれらの文字が自動的に置き換えられるため、類似性レポートに影響が及ぶことはありません。こうして文字を置き換える目的は、類似性一致を中断することです。

確認方法

ほとんどのファイルタイプでは、元々アップロードした文書をワードプロセッサまたはPDFビューアーで開くことができます。また、検索機能もしくは検索キー（CTRL+F）を使用して、文書内の非ラテン文字を見つけることができます。

異なるフォントが使用されているファイルやプレーンテキストのファイルを表示すると他の文体の違いが示される場合があります。アルファベットの識別に役立ちます。完全にサポートされていない場合、これらは◆や○などの固有のアイコンで表示されます。

閉じる

AIライティング検知機能

提出物全体のなかでAIによって生成されたと判断した文章をハイライトで示し、その割合をパーセンテージで表示します。

パーセンテージをクリックすると新しい画面が開き、検知した部分を確認できます。

AIライティング検知機能の詳細について、こちらをご確認ください：

<https://www.turnitin.com/ja/ai-writing>

The screenshot shows the Turnitin interface for a document titled "UK Economy.docx". The top navigation bar includes "類似性", "フラッグ 1", and "AIライティング 34%". The main content area displays a text excerpt about the 1970s global economy, with several sentences highlighted in blue to indicate AI-generated content. On the right side, there is a section titled "AIライティング" which shows a large "34%" figure and a question: "この答案はどの程度AIで生成されていますか?". Below this, there are three buttons: "よくある質問" (with a question mark icon), "リソース" (with a book icon), and "ガイド" (with a star icon). Each button has a corresponding link below it. At the bottom of the right sidebar, there is a link for "免責事項を表示".

This is a close-up of the Turnitin navigation bar. It shows three items: "類似性", "フラッグ 1", and "AIライティング 34%". The "AIライティング 34%" item is highlighted with a red rounded rectangle, indicating that it is the active or selected section.

右側からAIライティング検知機能に関するリソースやガイドにアクセスできます。

AIライティング

この答案はどの程度AIで生成されていますか？ ⓘ

34%

この答案の対象テキストのうち、AIで生成されたと判断されたもの。

詳細


よくある質問
[よくある質問を見る](#)


リソース
[確認する](#)


ガイド
[ガイドを見る](#)

[免責事項を表示](#)

AIライティング検知機能の免責事項は「免責事項を表示」から確認できます。

免責事項非表示

当社のAIライティング評価は、生成AIツールで作成された可能性があるテキストを教員が特定するのに役立つよう設計されています。この機能は正確でない（人間が作成したテキストとAI生成のテキストの両方が識別される）場合があるため、受講生に対する不正行為の唯一の根拠として使用しないでください。学業上の不正行為が発生しているかどうかを見極めるには、組織による特定の学業方針の適用に加えて、さらなる精査と人間の判断が必要になります。

フォルダーの管理

新規フォルダーの作成や編集

レポートの提出画面から新しいフォルダーを追加する際は「フォルダーを追加」を選びます。



フォルダーの名前を記入し、フォルダーに提出するファイルを今後の比較対象にする場合は「このフォルダーにアップロードされたファイルは、類似性比較にしようされます」をオンに設定します。



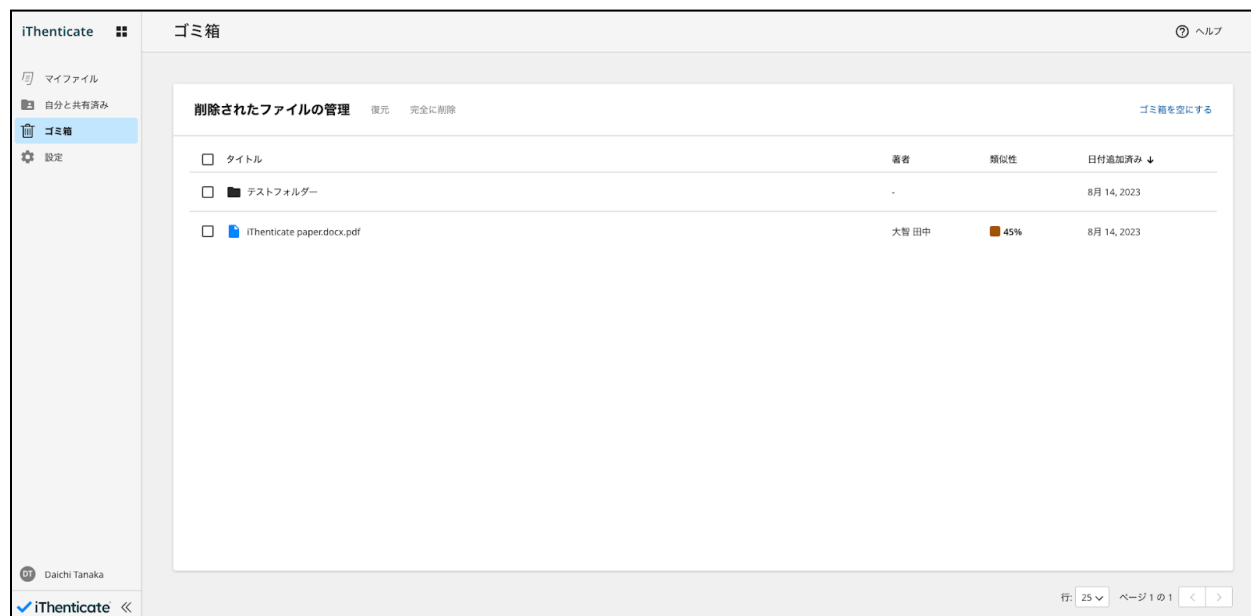
作成したフォルダーを編集する際は右側の3点リーダーから行ってください。



「共有」を選択するとアカウント内に登録されている別のユーザーとフォルダーを共有できます。
共有されたユーザーはそのフォルダーに提出したり、提出されたファイルを確認できるようになります。



フォルダーや提出物を削除すると、「ゴミ箱」に移動されます。



復元または完全に削除する場合は、対象となるフォルダー・ファイルを選択して行ってください。



ゴミ箱を空にするには右側の「ゴミ箱を空にする」から行ってください。



設定

デフォルトの類似性レポート設定

設定画面からデフォルトの類似性レポート設定を変更できます。

変更できる項目は：

- 比較対象のコンテンツ
 - Crossref：TurnitinはCrossref（国際DOI財団の公式登録機関）とのパートナーシップにより、1500の学術出版社に掲載されているジャーナル記事などの購読コンテンツと比較できるようになっています。
*「Crossref投稿コンテンツ」は提出されたがまだ出版されていない学術コンテンツです。
- 類似性レポートから除外する文章
- カスタマイズのセクションを除外



こちらから設定変更を行うことにより、個々のレポートで調整しなくても全ての提出物に対して変更内容を適用できます。